



令和5年度 三股町立梶山小学校 学校だより(No.6)

かじやま



令和5年7月20日(木)発行:文責 校長

7月22日(土)から長い夏休みに入ります。



厳しい暑さが続いています。梅雨明けも間近だと思います。明日で1学期が終了し、いよいよ、明後日から夏休みとなります。

昨年度までは、コロナ禍のなか、学校行事等が中止・縮小になったり、教育活動に制限がかかったりしていました。今年度は、コロナウイルス感染症に気を付けながらですが、4年前と同じ様な教育活動が展開できました。まずは、そのことに感謝したいと思います。

この1学期間、子供たちは、とても元気に、学習や運動にがんばりました。また、様々な教育活動等を通して、心の面でも大きく成長できたのではないかと実感しております。

保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に対しまして、これまで多大なるご理解とご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)について



本校は、令和4年度からコミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」を設置している学校です。つまり、本校には、昨年度から、「学校運営協議会」が設置されているということです。

設置のねらいですが、学校・家庭・地域で教育目標を共有し、「地域とともにある学校」へ転換を図ることです。

地域や学校の人が入れ替わっても、地域と学校が「熟議」と「協働」を経て、「地域の学校」づくりに励むという学校文化を維持していくことが最大の目標となります。

7月12日(水)に、今年度1回目の会合が開催されました。今後も、学校運営協議会で決定されたことや提案事項があれば、保護者の皆様にもお伝えされると思います。

7月19日(水)家庭教育学級



家庭教育学級が、4年ぶりに開催されました。1回目は開級式でしたので、三股町社会教育指導員の廣川英治先生に「家庭教育の在り方」というテーマで話をさせていただきました。様々なことを、学ばせていただきました。内容を、少しだけお伝えします。

■家庭教育とは、家庭という私的な生活の中で、親の教育方針によって自由に行われる教育。子供の成長にとって、大切な教育の場である。

■「怒る」と「叱る」の違い・・・「怒る」は、怒り手が感情を爆発させること。「叱る」は、相手に、よりよい方法を教示すること。

■子供にとっては、親の生き方こそ最高の教材。子供は、親の言う通りにはしない。親のする通りにする。

☆彡 「両親がひたむきに生きる姿自体が、どんな幼い子にも素晴らしい影響を与える」

(令和5年7月19日(水)開催の家庭教育学級講話から)